

高萩地区第2回学校運営協議会会議録

日時	令和3年10月22日（金）
場所	高萩中学校
出席者	石田則雄 鴨下吉彦 宮崎千恵子 岡野一平 平沼良政 市川徹 井上雄太 安原由美子 島津芳久 梶野義明
欠席者	谷本和歌子
協議事項及び 決定事項	○地域学校協働本部の具体的な組織体制づくり（グループワーク）
会議の経過	<p>(1) 教育委員会より小中一貫教育の展望（小坂井教育指導幹より） 令和5年度から順次、武蔵台地区、高麗地区、高根地区が義務教育学校に移行していく。その他の地区は小中一貫校として令和7年度からスタートする。</p> <p>義務教育学校と小中一貫校の導入にあたって、児童生徒数など学校規模を考えて学校教育を行うことにより、①小中を一体として捉えて9年間の系統生のある教育の推進②小中ギャップ（中学校入学時の不適応や不登校）の軽減により、小から中への円滑な接続③異学年交流による社会性の育成の3つの利点がある。これにより、継続的な生徒指導体制が構築でき、たくさんの目で生徒たちを指導していくことができる。</p> <p>3地区（武蔵台、高麗、高根）で、12回の住民を対象とした説明会を開いた。名称、先生方の負担感、地域に根ざした学校の伝統性等様々な意見がでた。</p> <p>今後、市議会や地域住民へ説明を行い、来年の広報誌に方針を掲載していく。</p> <p>(2) 地域学校協働本部の具体的な組織体制について3グループに分かれて協議を行う。</p> <p>学校運営協議会の中の地域学校協働本部の位置付け、さらには組織の運営の方法について、組織づくりや位置付けをグループに分かれて熟議した。</p>
	 <p>グループ A</p>
	 <p>グループ B</p>
	 <p>グループ C</p>